### 事例分類

掃除を担当制にし、職員の業務量の分散化を図る

# ■サマリー: 見える化・均一化で業務負荷軽減で、保育の質に注力できる

#### 課題

・一部の職員による、日々の保育業務とコロナ感染予防の為の掃除(通常の掃除 も含む)が常態化している。一部の職員の負担軽減のための方策及び休憩の確保について、早急に改善に取り組む必要がある。



#### 目標

- ・一人一人が見通しを持ち行動ができるようになる。
- ・各職員の衛生意識の向上
- ・仕事の効率化
- ・業務の負担軽減
- ・コロナ感染予防対策促進
- ・休憩時間の確保する



#### 成果

- ・掃除表を用いた結果、掃除の場所、誰が担当するかが明確になり、見通しが持てるようになり、職員の衛生面の意識付けにもつながった。
- ・反面、課題も出ている。掃除表以外の箇所は気に留まらないなどの状況もあり、一人一人の意識の向上が課題。

### 課題の意図・詳細説明

・上記と同じ

### 目標の意図

チーム全体で共有、協働することで保育内容の充実、効率化をはかり、休憩時間を確保できるようにする。リフレッシュする時間を設けることで、意欲の向上につなげる。

# 具体的な取り組み 12月

- ・保育士、看護師など職員それぞれの意見を傾聴する。
- ・コロナ禍の中、掃除や除菌をしっかり行いたいがうまくいかない。
- ○その理由として
- ①掃除箇所が見えていないため職員間それぞれでずれがある。
- ②保育業務との両立の難しさ

# 取り組み

- ・掃除表と休憩表の作成
- ・掃除表は、必要な掃除、分担したい掃除の聞き取りを行った。
- ・職員へ休憩の取り方の周知(休憩は必ず別室でとるなど。)
- ・休憩と合わせて、SIDS チェックの見直し

## 具体的な取り組み 1月

- ・掃除表を1か月取り組んでみて、掃除箇所の追加が出てきた。
- ・見える化したことにより、今までトイレ掃除など1か月に何回もしている職員、ほとんどしていない職員がなくなり、月に一人3回程度になったので、負担も軽減した。
- ・休憩が取れるようになったが、部屋の業務も気になるという声も上がった。 また、行事前や会議の時は取りづらいこともある。

毎日休憩をとってほしいという思いと、保育室の現状で難しいと感じる部分もあるが、保育業務も見直したりしながら休憩を毎日取れるようにしていきたい。

# 具体的な取り組み 2月

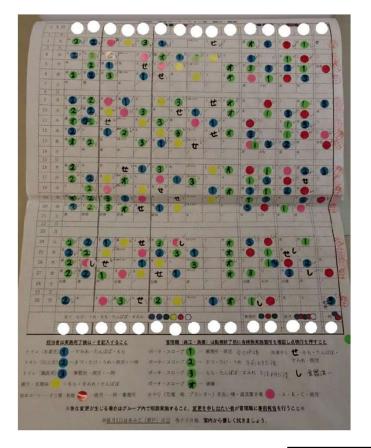
- ・掃除は、それぞれ時間を見つけて取り組むことが出来るようになる。
- ・しかし、掃除表以外の場所があったとき、まだ固定の職員がしている部分が あるので、掃除箇所のシールが次から次へと増えていっている。

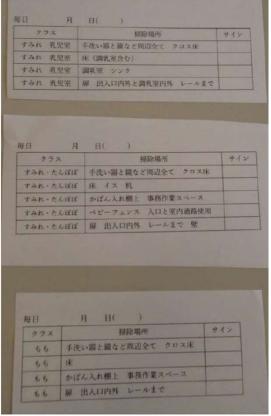
その都度、話し合いを行いそれぞれの意識向上に努めていく必要があり、まだ まだ改善が必要。

- ・休憩は、それぞれ別室に行き取れるようになった。
- 行事前や会議やミニ会議の時は取れない時もあるので、行事の準備や会議のあり方を考えていく必要がある。
- ・今回まだまだ改善が必要なことが多いが、業務の見える化をしたことにより、 今までできていなかったことがしっかりできるようになり、見通しを持つこと が出来ました。
- ・また、保育室から離れる休憩時間を少しでも取れるようになり、切り替えが でき保育の質の向上にもつながっていると感じました。

### 月別掃除表

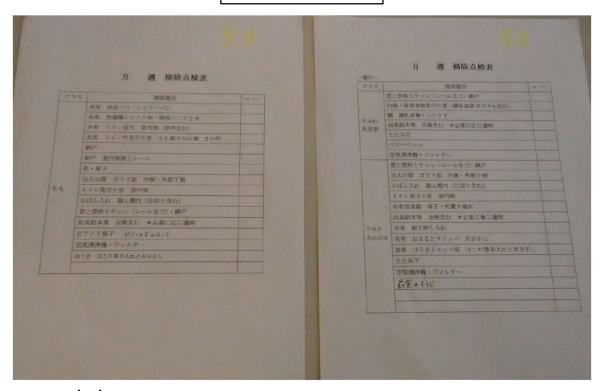
## 毎日掃除点検表



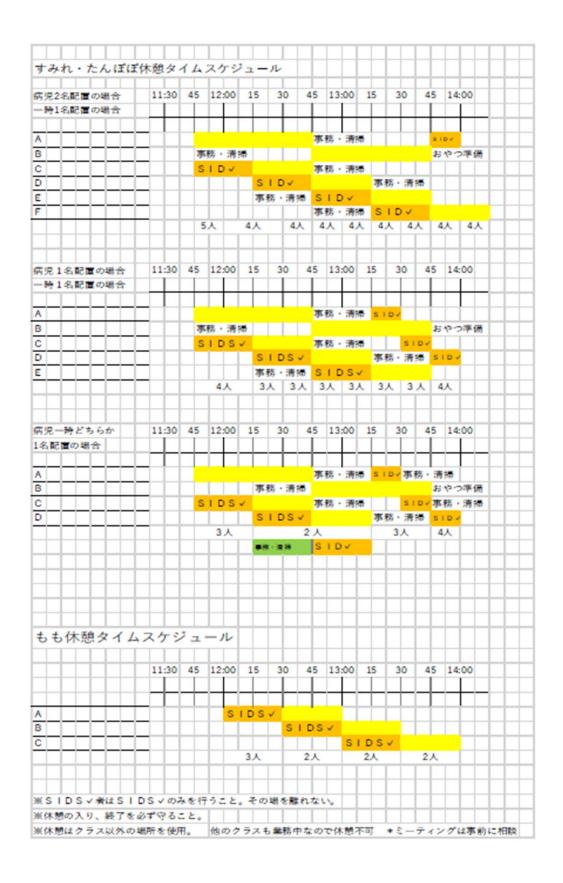


3

## 週掃除点検表



2021/3/25



2021/3/25